



スマートな未来へ

New Business Contractor

2019年9月期 決算説明

2019年11月14日

当資料には、2019年11月14日現在の経営陣の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢などに関わるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。
なお、数値は表示単位未満四捨五入で表示しています。

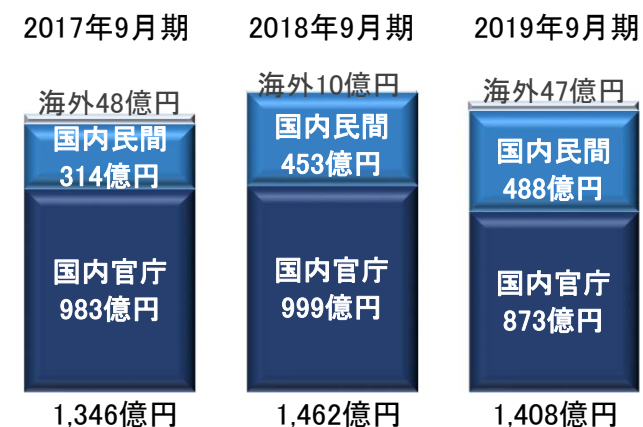
基盤事業（土木・建築）の受注高

◆基盤事業（土木・建築）受注高

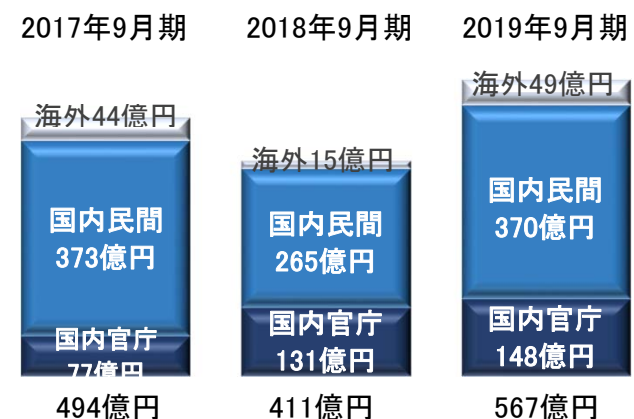
(単位:億円)	2018年度	2019年度		2019年度 通期予想
	第2四半期 実績	第2四半期 実績	対前年増減率	
土木受注	455	341	-25.0%	660
一国内官庁	272	215	-21.0%	
一国内民間	183	90	-50.7%	
一海外	1	37	—	
建築受注	289	226	-21.8%	500
一国内官庁	91	50	-45.5%	
一国内民間	190	126	-34.0%	
一海外	7	50	604.0%	
建設受注計	744	567	-23.8%	1,160

◆次期繰越高の状況

【土木部門】



【建築部門】

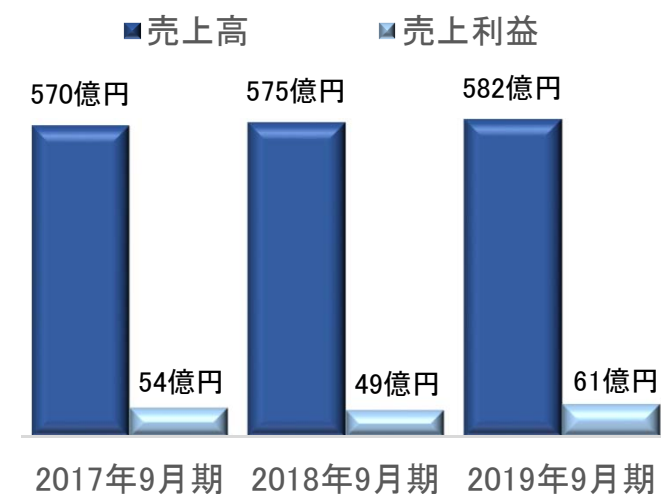


連結損益計算書

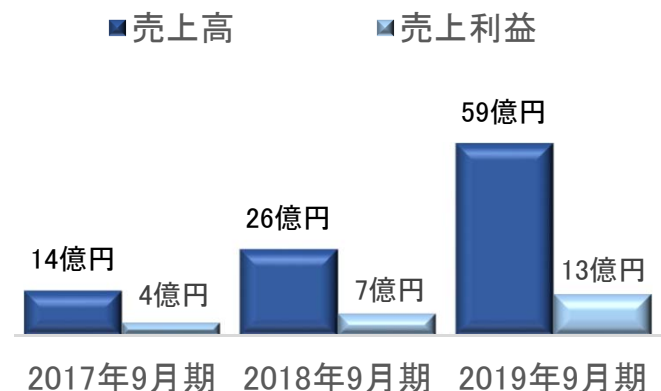
◆売上高／売上利益

(単位:億円)	2018年度	2019年度		2019年度 通期予想
	第2四半期 実績	実績 (利益率)	対前年増減率	
売上高	602	641	6.4%	1,400
土木完工高	353	362	2.5%	
建築完工高	223	220	-1.1%	
グローブ事業売上高	26	59	122.4%	
売上総利益(率)	56 (9.3%)	74 (11.5%)	31.3%	
土木完工利益	32 (9.0%)	46 (12.7%)	44.2%	
建築完工利益	17 (7.8%)	15 (6.8%)	-14.2%	
グローブ事業売上利益	7 (25.9%)	13 (21.8%)	87.0%	
一般管理費(率)	35 (5.8%)	43 (6.7%)	22.5%	71
営業利益(率)	21 (3.5%)	31 (4.8%)	45.7%	
経常利益(率)	23 (3.9%)	29 (4.5%)	25.0%	
当(四半)期純利益(率)	18 (2.9%)	19 (3.0%)	8.8%	
				44

◆基盤事業の業績



◆グローブ事業の業績



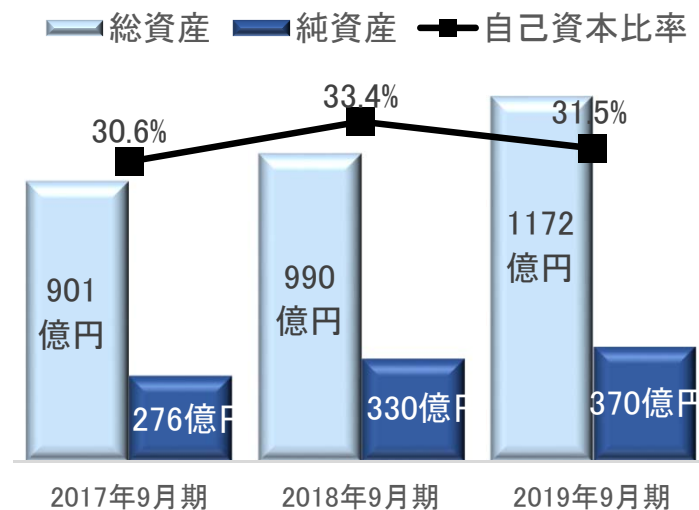
貸借対照表（連結）

(単位:億円)	2018年度		2019年度	
	第2四半期 実績	通期 実績	第2四半期 実績	前期比 増減
資産				
－現金・預金	174	232	138	-95
－受取手形・完成工事未収入金等	449	521	589	68
－未成工事支出金等	20	24	22	-2
－有価証券	43	16	56	40
－その他流動資産	70	73	122	49
－固定資産	233	230	246	16
資産合計	990	1,096	1,172	77
負債				
－支払手形・工事未払金等	310	359	297	-62
－未成工事受入金	71	84	70	-14
－短期借入金	0	0	196	196
－長期借入金	103	104	18	-86
－その他債務	175	185	223	38
負債合計	659	732	803	71
純資産	330	364	370	6
(自己資本比率)	33.4%	33.2%	31.5%	-1.7%

◆キャッシュフロー計算書

(単位:億円)	2018年度		2019年度	
	第2四半期 実績	前年同期比 増減	第2四半期 実績	前年同期比 増減
営業CF	2	-106	-104	-11
－営業利益等	24	11	35	11
－債権債務増減等	-24	-113	-137	-113
－営業外収支等	2	-4	-2	-4
投資CF	-18	-17	-35	-17
財務CF	-7	65	58	65
計	-22	-59	-81	-59

◆総資産/純資産/自己資本



主な連結子会社の状況

株式会社E&CS (トグル制震装置外販等)



(単位：百万円)	第2四半期 実績	通期見通
売上高	4,113	7,749
営業利益	51	151
経常利益	51	146
当期純利益	33	88

ノダック株式会社 (潜水工事・水質環境保全等)



(単位：百万円)	第2四半期 実績	通期見通
売上高	906	2,100
営業利益	▲ 14	180
経常利益	▲ 9	183
当期純利益	▲ 9	119

杉田建設興業株式会社 (建設事業(父島・母島等))



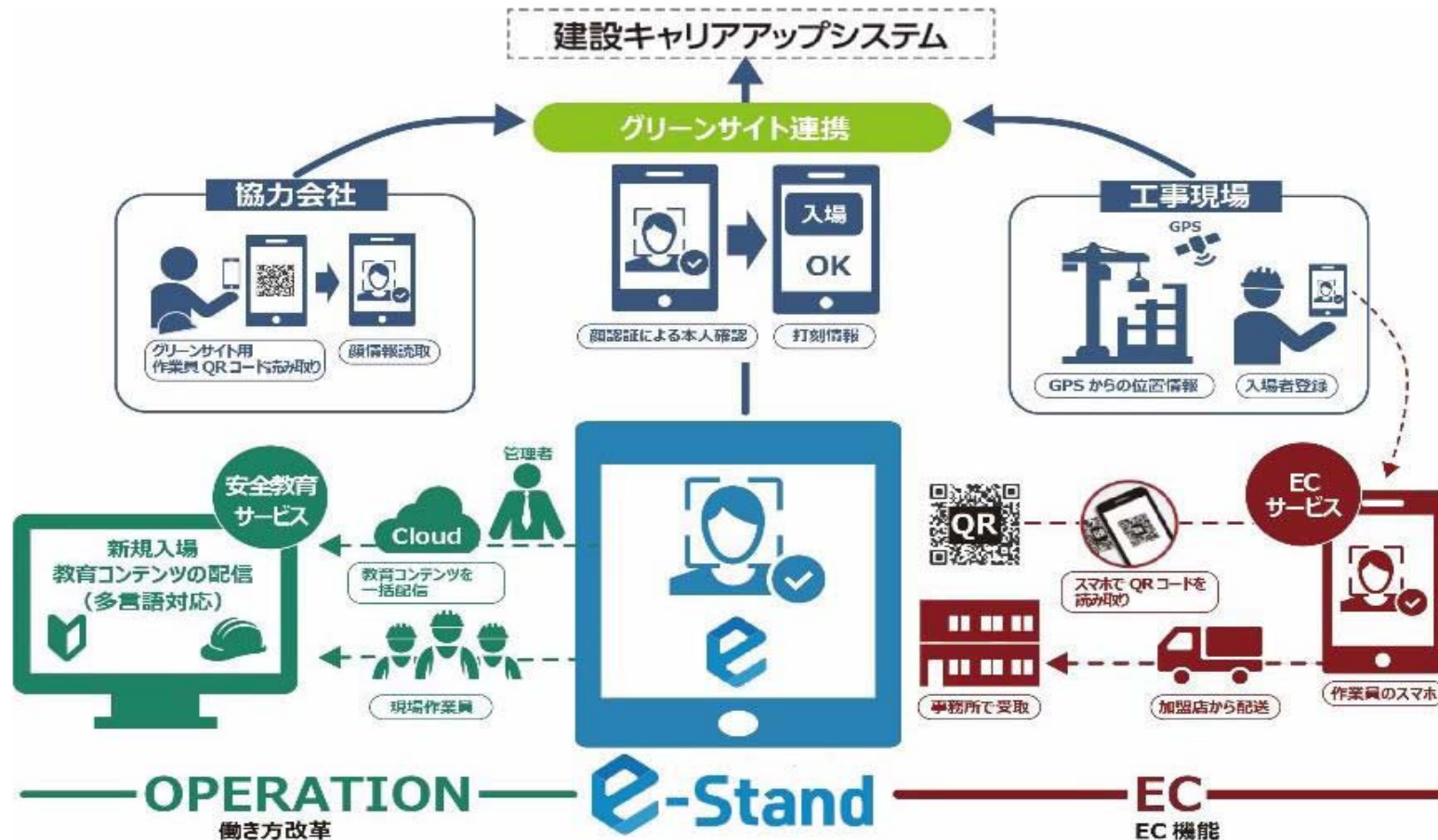
(単位：百万円)	第2四半期 実績	通期見通
売上高	958	1,950
営業利益	39	110
経常利益	9	113
当期純利益	26	75

生産性の向上と働き方改革の推進-1

～デジタルトランスフォーメーションの推進～

◆「建設現場顔認証forグリーンサイト」の採用

- 当社開発の「e-Stand」(多機能サイネージシステム)にNECの顔認証技術を活用した技能労働者の入退場管理サービスを搭載(10月より運用開始)

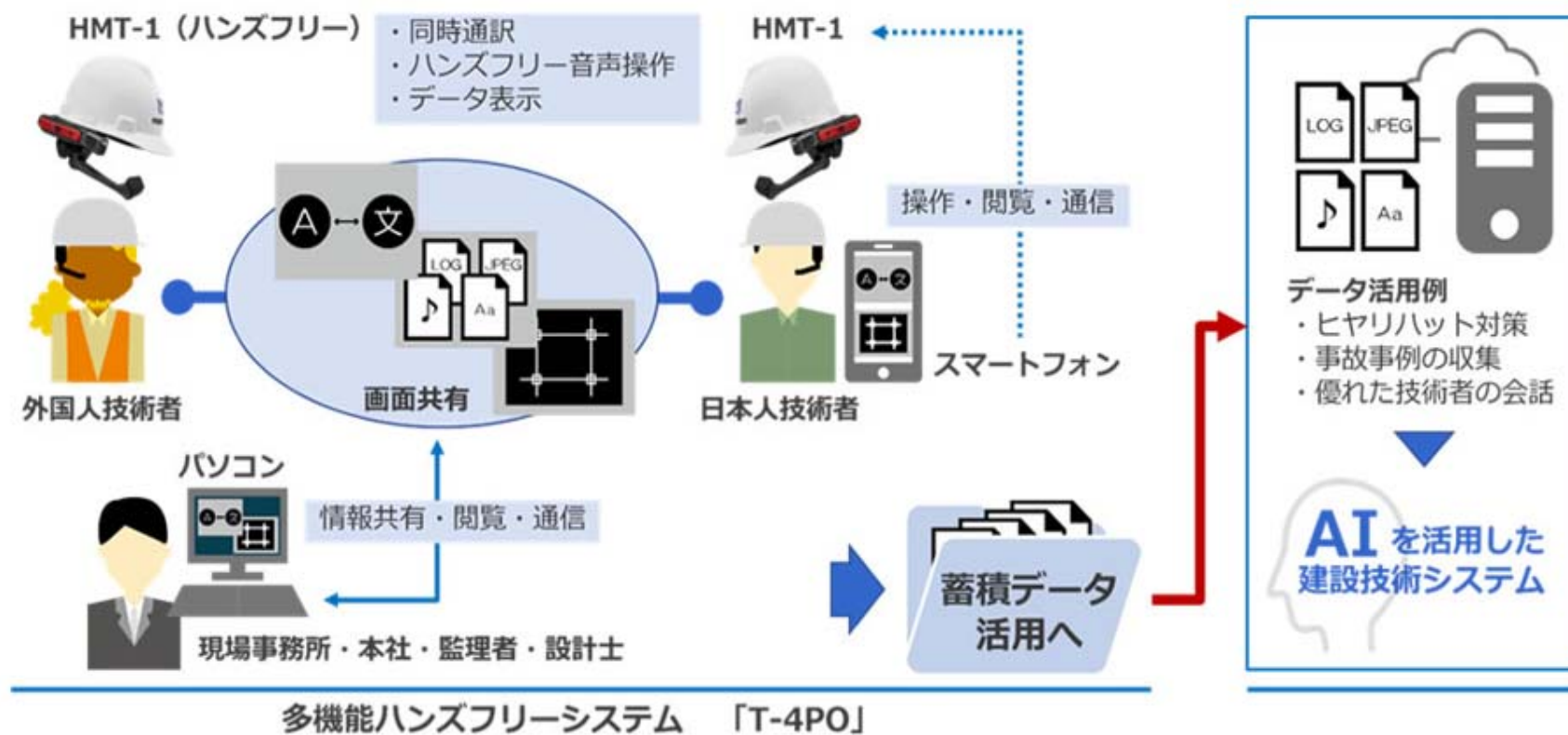


生産性の向上と働き方改革の推進-2

～デジタルトランスフォーメーションの推進～

◆多機能ハンズフリーシステムの開発に着手

- ロゼッタグループと共同で遠隔地からも情報共有を可能とするハンズフリーアプリケーション(産業用スマートグラス)・建設現場におけるデータ取得アプリケーション・同時自動通訳機能を付加したシステムの開発に着手



生産性の向上と働き方改革の推進-3

～デジタルトランスフォーメーションの推進～

◆山岳トンネル建設工事向けIoTプラットフォーム「IoT-Smart-CIP」の開発に着手

- プラットフォーム開発の第一弾として山岳トンネル工事現場における入坑管理システム、及び作業員の安全作業を補助する接近警告システムを開発

